



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東

コード番号 2060 URL https://www.feed-one.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 英洋

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 望月 弘次

TEL 045-211-6520

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	219,072	△2.9	5,632	31.8	6,149	30.1	4,585	23.5
2025年3月期第3四半期	225,521	△5.4	4,271	△15.6	4,728	△8.2	3,711	13.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,264百万円 (46.9%) 2025年3月期第3四半期 4,264百万円 (12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	119.89	-
2025年3月期第3四半期	97.00	-

	EBITDA	
	百万円	%
2026年3月期第3四半期	9,247	22.3
2025年3月期第3四半期	7,559	△2.1

(注) EBITDA=経常利益+支払利息-受取利息+減価償却費及びのれん償却費

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	139,193		60,007		42.6	
2025年3月期	124,172		55,347		44.0	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 59,299百万円 2025年3月期 54,623百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 14.50	円 銭 -	円 銭 21.00	円 銭 35.50
2026年3月期	円 銭 -	円 銭 21.00	円 銭 -	円 銭 21.00	円 銭 42.00
2026年3月期(予想)					

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 2026年3月期中間配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	311,000	5.1	6,800	7.2	7,000	3.1	5,200	△3.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 4社 (社名) 苦小牧飼料株式会社、東北飼料株式会社、東海フィードワン販売株式会社、八戸フィードワン販売株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	38,477,128株	2025年3月期	38,477,128株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	207,698株	2025年3月期	253,018株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	38,247,471株	2025年3月期 3Q	38,262,866株

(注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式（2026年3月期3Q 205,772株、2025年3月期251,560株）が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期3Q 227,966株、2025年3月期3Q 177,140株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）のわが国経済は、インバウンド需要の拡大や個人消費に持ち直しの動きがある中で、雇用・所得環境に改善傾向がみられております。一方で、日本銀行の政策金利動向や、国際情勢の変化が今後の国内景気に及ぼす影響等が懸念されており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこしのシカゴ相場は、主産地である米国において作付けが概ね計画どおり進み、生育期間中の天候も安定していたことから、軟調に推移しました。こうした市況を背景に、当社の畜産用配合飼料価格は前年同期と比較して低下しました。

畜産物相場につきましては、豚肉相場は6月以降、猛暑による肉豚の出荷頭数が減少したこと等から、急激に上昇しましたが、8月以降は出荷頭数回復に伴い平均では前年同期を下回りました。鶏卵相場は、2024年秋から2025年の年始にかけて、各地で発生した鳥インフルエンザの拡大や猛暑による供給不足が続き、前年同期を大きく上回って推移しております。

こうした環境にあって、当社グループは2025年3月期を初年度とする「中期経営計画2026～1st STAGE for NEXT 10 YEARS～」の達成に向けて、資本コスト経営を意識した「積極的な設備投資」、「製造の効率化」、「グループ経営の高度化」、「人的資本への投資」を経営戦略の軸に取り組みを進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,190億7千2百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は56億3千2百万円（前年同期比31.8%増）、経常利益は61億4千9百万円（前年同期比30.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億8千5百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

また、設備投資計画の確実な実行と資本コストを意識した経営を実現するため、EBITDA及びROICを経営指標として導入しております。当第3四半期連結累計期間のEBITDAは次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
経常利益	4,728	6,149	+30.1
支払利息	131	182	+38.6
受取利息	2	8	+209.0
減価償却費及びのれん償却費	2,701	2,923	+8.2
EBITDA	7,559	9,247	+22.3

(注) EBITDA=経常利益+支払利息+受取利息+減価償却費及びのれん償却費

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### ① 畜産飼料事業

セグメント売上高は1,677億5千9百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント利益は70億6千3百万円（前年同期比18.2%増）、セグメントEBITDAは91億円（前年同期比15.6%増）となりました。

畜産飼料の販売数量・平均販売価格とともに前年同期を下回り減収となりましたが、原料価格に応じた価格改定や採算管理の徹底等が奏功して収益環境が改善した結果、増益となりました。

#### ② 水産飼料事業

セグメント売上高は194億4千1百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は13億7百万円（前年同期比33.9%増）、セグメントEBITDAは17億3千7百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

水産飼料の販売数量・平均販売価格が前年同期を下回ったことで減収となったものの、原料価格の低下や採算管理の徹底等が寄与し、増益となりました。

#### ③ 食品事業

セグメント売上高は318億6千万円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は1億1千4百万円（前年同期比2.0%減）、セグメントEBITDAは2億9千万円（前年同期比21.1%増）となりました。

鶏卵部門では、鶏卵相場の高騰により増収となったものの、仕入コストの上昇及びマジックパール新工場稼働に伴う減価償却費の増加等により減益となりました。一方、食肉部門では、豚肉相場が前年同期をやや下回り減収となりましたが、収益構造改革を推進した結果、前期の赤字から黒字へと転換いたしました。この結果、食品

事業全体では、セグメント利益は前年並みとなったものの、減価償却費の影響を除いたセグメントEBITDAは増加いたしました。

#### ④ その他

セグメント売上高は1千万円（前年同期比11.5%減）、セグメント利益は2千2百万円（前年同期比70.2%減）、セグメントEBITDAは2千3百万円（前年同期比69.3%減）となりました。

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のみのため、売上高の計上はなく、セグメント利益及びセグメントEBITDAは主に持分法投資損益の計上であります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,391億9千3百万円（前期末比150億2千1百万円増）となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が31億7千6百万円減少した一方、現金及び預金が18億9千6百万円増加、受取手形及び売掛金が59億3千5百万円増加、電子記録債権が26億8千4百万円増加、建設仮勘定が45億5千8百万円増加、投資有価証券が26億6千8百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、791億8千5百万円（前期末比103億6千万円増）となりました。主な要因は、短期借入金が69億7千4百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が59億2百万円増加、長期借入金が92億3千万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、600億7百万円（前期末比46億6千万円増）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が16億1千5百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が45億8千5百万円増加、その他有価証券評価差額金が15億8百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,342	12,238
受取手形及び売掛金	43,211	49,147
電子記録債権	4,437	7,122
商品及び製品	2,570	2,857
原材料及び貯蔵品	16,451	13,275
動物	392	417
その他	2,832	2,861
貸倒引当金	△152	△160
流動資産合計	80,085	87,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,019	13,182
機械装置及び運搬具（純額）	9,967	9,586
土地	6,255	6,532
リース資産（純額）	629	659
建設仮勘定	648	5,206
その他（純額）	787	1,076
有形固定資産合計	31,308	36,244
無形固定資産		
その他	1,552	1,346
無形固定資産合計	1,552	1,346
投資その他の資産		
投資有価証券	10,450	13,118
長期貸付金	8	89
破産更生債権等	171	232
繰延税金資産	205	165
その他	531	535
貸倒引当金	△141	△298
投資その他の資産合計	11,225	13,843
固定資産合計	44,086	51,434
資産合計	124,172	139,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	29,106	35,008
短期借入金	12,878	5,903
リース債務	129	144
未払法人税等	187	938
賞与引当金	790	440
その他	7,075	8,018
<b>流動負債合計</b>	<b>50,168</b>	<b>50,454</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	14,400	23,631
リース債務	538	553
繰延税金負債	858	1,627
役員株式給付引当金	118	114
退職給付に係る負債	2,478	2,523
資産除去債務	58	59
持分法適用に伴う負債	117	156
その他	85	65
<b>固定負債合計</b>	<b>18,656</b>	<b>28,731</b>
<b>負債合計</b>	<b>68,825</b>	<b>79,185</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>9,757</b>	<b>9,791</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>32,338</b>	<b>35,307</b>
<b>自己株式</b>	<b>△210</b>	<b>△172</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>51,884</b>	<b>54,926</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>2,659</b>	<b>4,168</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	<b>△33</b>	<b>23</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>140</b>	<b>202</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>△27</b>	<b>△21</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>2,739</b>	<b>4,372</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>723</b>	<b>708</b>
<b>純資産合計</b>	<b>55,347</b>	<b>60,007</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>124,172</b>	<b>139,193</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	225,521	219,072
売上原価	201,804	193,932
売上総利益	23,716	25,139
販売費及び一般管理費	19,444	19,507
営業利益	4,271	5,632
営業外収益		
受取利息	2	8
受取配当金	150	198
持分法による投資利益	201	330
備蓄保管収入	107	106
その他	189	171
営業外収益合計	651	814
営業外費用		
支払利息	131	182
支払手数料	31	61
その他	32	53
営業外費用合計	195	296
経常利益	4,728	6,149
特別利益		
固定資産売却益	9	102
事業譲渡益	10	—
負ののれん発生益	338	—
特別利益合計	357	102
特別損失		
固定資産売却損	6	45
固定資産除却損	33	13
減損損失	47	4
関係会社株式売却損	8	—
段階取得に係る差損	158	—
本社移転費用	32	—
特別損失合計	287	63
税金等調整前四半期純利益	4,798	6,189
法人税、住民税及び事業税	682	1,467
法人税等調整額	310	90
法人税等合計	993	1,558
四半期純利益	3,805	4,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	93	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,711	4,585

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,805	4,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	313	1,508
繰延ヘッジ損益	89	57
退職給付に係る調整額	6	5
持分法適用会社に対する持分相当額	50	62
その他の包括利益合計	459	1,633
四半期包括利益	4,264	6,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,170	6,219
非支配株主に係る四半期包括利益	93	44

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	畜産飼料 事業	水産飼料 事業	食品事業	計				
売上高 顧客との契約から生じる収益	175,949	21,104	28,456	225,509	11	225,521	—	225,521
外部顧客に対する売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	175,949	21,104	28,456	225,509	11	225,521	—	225,521
計	179,333	21,350	28,472	229,156	12	229,168	△3,647	225,521
セグメント利益	5,977	976	116	7,069	74	7,144	△2,415	4,728

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のみのため、売上高の計上ではなく、セグメント利益は主に持分法投資損益の計上であります。

- 2 セグメント利益の調整額△2,415百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△2,415百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融収支であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない減損損失は、47百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

畜産飼料事業において、持分法適用関連会社であった道北協同飼料販売㈱を株式の追加取得により連結の範囲に含めたことに伴い、負ののれん発生益338百万円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	畜産飼料 事業	水産飼料 事業	食品事業	計				
売上高 顧客との契約から生じる収益	167,759	19,441	31,860	219,061	10	219,072	—	219,072
外部顧客に対する売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	167,759	19,441	31,860	219,061	10	219,072	—	219,072
計	171,489	19,689	31,874	223,053	11	223,064	△3,992	219,072
セグメント利益	7,063	1,307	114	8,484	22	8,507	△2,357	6,149

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のみのため、売上高の計上ではなく、セグメント利益は主に持分法投資損益の計上であります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,357百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△2,356百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融収支であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

畜産飼料事業において、将来の使用が見込まれなくなった資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、4百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

畜産飼料事業において、持分法適用関連会社である仙台飼料㈱の株式を追加取得したことに伴い、発生した負ののれん発生益相当額192百万円を持分法による投資利益に含めて計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,701百万円